平成27年安曇野市成人式

大人への門出

1あいさつをする宮澤市長　2厳粛な雰囲気の中、式典が行われた　3新成人代表・笠井さんのあいさつ　4真剣なまなざしで話を聞く新成人の皆さん　5クラスごとに恩師との記念撮影　6旧友との再会を喜ぶ　7交流会で当時の給食メニューを味わう　8卒業アルバムを使ったフォトムービー　9会場前で歓談する皆さん

市内で1155人が成人

安曇野市成人式が1月11日、安曇野スイス村サンモリッツ（豊科南穂高）で開かれました。本年度、市内では1155人（男性563人、女性592人）が新成人となり、式典には843人が出席しました。会場には、晴れ着姿の新成人が集まり、友人や恩師との再会を喜んだり、記念撮影をしたりしました。

式典では、宮澤市長が「世界で活躍し、また、地域では仲間との絆を大切に積極的にまちづくりに参加してほしい」とあいさつ。その後、新成人を代表して穂高西中出身の笠井花さん（大阪府）が「進学で安曇野を離れ、よりふるさとを思う気持ちが強くなりました。成人の日を迎えた喜びと共に責任と自覚を持っていきたい」と決意を述べました。このほか新成人には記念品が贈呈されました。

式終了後の交流会では、中学時代のフォトムービーの上映のほか、円揚げや揚げパンなど中学時代の「給食」のメニューを再現した料理が出され、新成人の皆さんは、懐かしい味を味わいながら歓談していました。

新成人に聞く！

式の企画・運営に携わった実行委員会（16人）の代表者に話を聞きました。

（質問項目）

①新成人となっての決意

②親への感謝の言葉

③安曇野らしさとは

④安曇野市は今後、どんなまちになってほしいですか

笠井（かさい）　花（はな）さん
（実行委員長・穂高西中卒）

①社会の一員として常に向上心を持ち続けたい。② 親元を離れて２年、親のありがた味を感じています。③自然豊かで、暮らしやすい、温かいまち。④自然豊かで、活力あふれるまちになってほしいです。

鳥羽（とば）　元（はじめ）さん
（副実行委員長・穂高西中卒）

①社会人として自覚を持ち、社会に貢献する人間になりたい。②いろいろ迷惑もかけたけど、ここまで育ててくれてありがとう！③雄大な自然と、澄んだ空気の美しいまち④訪れた人が「また来たい」と思えるような美しいまちになってほしい。

赤羽（あかはね）　夏美（なつみ）さん
（副実行委員長・明科中卒）

①社会の一員として人の役に立ちたい。②今まで温かく見守り育ててくれてありがとう。③自然が豊かで水がきれいなところ。④市民みんなに優しいまちになってほしい。

小林（こばやし）　健太郎（けんたろう）さん
（豊科北中卒）

①自分を高める努力を怠らないようにしたい。②感謝は尽きません。今後は、親を支えるよう努力したい。③自然を残しつつ、住みやすい風土。④自然と街並みを保ち、何度も訪れたくなるまちになってほしい。

赤羽（あかはね）　由紀子（ゆきこ）さん
（三郷中卒）

①将来は安曇野に戻り地域の人の役に立ちたい。②素直にありがとう。③豊かな自然や山の景色、農産物。④人と人とが助け合えるまちになってほしい。

臼井（うすい）　拓哉（たくや）さん
（堀金中卒）

①自分の夢を実現する強い意志を持ち歩みたい。②苦労や心配をかけ、感謝の気持ちでいっぱいです。期待に応えたい。③田舎ならではの良さと、四季を楽しめ、みんなが健康であること。④帰った時にホッとできるまちであってほしい。

成人式を自ら企画・運営
新成人として誓いを新たに

成人式では、成人式実行委員会を設け、新成人自らが企画・運営に携わっています。本年度は、各地域から集まった16人の委員が8月から4回にわたって会議を開き、準備を進めてきました。

本年度のテーマは「輝（かがやき）」。安曇野の夜空に輝く無数の星のように、一人ひとりがそれぞれの道で生き生きと輝くことで、新成人として社会を照らす希望の光になろうという決意を表しています。「自分たちの思いを一文字に込めた」と副実行委員長で提案者の赤羽夏美さんは話してくれました。

会場では、企画の一つとして星型の付せんに新成人がそれぞれの抱負を書いてパネルに貼り付け、星々が輝く夜空を製作。人生の大きな節目に誓いを新たにしました。

抱負を記した付せん